

パラグアイ海外邦人安全対策情報(令和6年1月～3月)

1 ポイント

- アスンシオン市やその近郊のセントラル県内の都市部では、引き続き路上強盗等の強盗事件が多く発生しています。
- シウダ・デル・エステ市では商店や両替店が強盗や窃盗のターゲットとなる事件も多く発生しています。
- アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市では、麻薬組織が関係すると思われる殺人事件が発生しています。
- イタプア県カルロス・アントニオ・ロペス地区においても、強盗事件や ATM が狙われる窃盗事件が発生しています。

2 犯罪傾向と安全対策の詳細情報

以下のページ(安全の手引き)も併せてご確認ください。

https://www.py.emb-japan.go.jp/itpr_ja/anzentebiki.html

3 主な事件

- ・1月7日23時45分頃、シウダ・デル・エステ市サン・ラファエル地区において、ピザデリバリーの男性が配達先に到着したところ、3人組の男に襲われて、乗っていたバイク、所持していた携帯電話及び配達商品のピザを奪われた。
- ・1月8日3時30分頃、イタプア県カルロス・アントニオ・ロペス地区において、4人組の男が銀行のATMに押し入り現金を盗み出そうとした。犯人らは爆発物を用いてATMコーナーのガラス扉の破壊を試みたが失敗し、現場から逃走した。
- ・1月19日朝、セントラル県シルビオ・ペティロッシ空港付近のロータリーにおいて、電子機器を積載して空港を出発したトラックが、4台の車両に分乗した10人程の武装犯に取り囲まれ、積荷の一部を奪われた。
- ・1月20日早朝、アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市において、麻薬組織に所属する男性がハルディン・アウロラ地区の自宅に向かっていたところ、待ち伏せをしていた何者かに銃撃されて死亡した。
- ・2月1日朝、アマンバイ県ペドロ・ファン・カバジェロ市において、電力公社で勤務する男性が自宅を出て車で勤務先に移動していたところ、何者かから銃弾11発を受けて重傷を負った。
- ・2月9日朝、イタプア県カルロス・アントニオ・ロペス地区において、2人組の男が食料品店に押し入り現金及び小切手を奪って逃走した。
- ・2月12日9時30分頃、アスンシオン市サン・ロケ地区の路上において、徒歩で移動中の若い女性がバイクに乗った2人組の男に襲われ、所持していた現金、身分証、携帯電話を奪われた。女性は襲われた際に抵抗し、犯人らによって路上を引きずられるなどの暴行を受けた。
- ・2月27日朝、イタプア県トーマス・ロメロ・ペレイラ地区において、ブラジル人の男性が車で移動していたところ、3人組の武装した男に襲われて、所持していた現金と携帯電話を奪われた。
- ・3月25日早朝、アスンシオン市セントロ地区において、不動産会社を営む男性が職場に到着したところ、4人組の武装犯に襲われた。犯人は被害者が現金を所持していないことを知ると、男性を車に乗せて被害者の自宅まで押しかけようとしたが、犯人に拘束されなかった被害者の甥が通報し、駆けつけた警察官によって男性は救出された。